

OPINION

中部経済新聞

ナビゲーター

金融などの産業では、熟練した専門家が他国に転出しているが、企業は柔軟な勤務形態、競争力ある報酬制度、専門能力開発の機会の提供で人材を惹きつけ活用しようとする努力している。

大湾区構想の発展に向けた政府公約は企業が新市場を開

今後の香港経済は技術の進歩や、より多様化する経済への変化で進化していくだろう。フィンテック、バイオやグリーン・テクノロジーの分野で地域リーダーを目指しイノベーションと最新技術分野へ投資している。最新技術や

日本への期待
世界各地から

115

経済から文化交流まで

拓し、中国本土の提携相手と協働する機会を提供している。最近の在宅勤務構想は、富裕層の投資拡大や香港での在宅勤務を後押ししている。統計では香港の超富裕層はアジアでは最多、世界でも2番目に多い。香港は世界的な慈善活動の中心としても発展しつつある。

とはいえ将来のリスクがないではない。さらなる政情不安や他国の経済制裁の可能性は、事業環境を混乱させる可能性がある。このような不確実性に対応するため、企業は

香港の現在と将来(下)

危機管理と事業継続化計画に力を入れるようになっていく。

香港が他地域との経済関係の強化を目指す中、日本は重要なパートナーであり続けている。双方の貿易と投資の強化が期待される。香港企業は日本を重要市場としてだけでなく、技術やイノベーションの源泉として見ている。フィンテック、持続可能な開発、医療関係などでの協働に関心が高まっている。日本企業にもっと事業や投資したいと考える企業がある。

経済的な関係以上に、双方には文化交流の需要がある。日本の豊かな文化遺産と伝統は、香港旅行者を惹きつけ、観光業に貢献している。逆に香港独自の東西の融合した文化や、芸術文化センターとしての発展は、日本人観光客にとって魅力的になっている。両地域は、相互の文化の理解を深めることで恩恵を受ける。

さらなる期待は、地域内の安定強化である。香港の日本企業は長期計画と投資を可能にする、より予測可能な政治

・経済環境を期待する。安定がより大きな信頼と協力を生み、アジア進出をはかる日本企業にとり香港がさらに魅力的な拠点になればと考える。

社会的には、人間関係の強化が期待される。教育交流、インターンシップ、文化交流などを促進する取り組みは、双方の人々の相互理解を深める。私を含め多くの香港人は料理から芸術まで日本文化に憧れる。だから私は修士課程で日本研究を専攻し、研究旅行や交流に出かけている。技術や災害管理などの分野で、日本の経験から学ぼうという熱意もある。

・法制的な課題という複雑な状況を克服しながら、経済の回復に取り組んでいる。企業は適応性、人材管理、リスク軽減にますます重点を置くようになっていく。一方、日本からの期待は、経済的紐帯(ちゆうたい)の強化、文化交流、安定へのものを反映している。将来を見据え、協働と理解を相互促進することは、課題を克服し新たな機会をつかむために不可欠である。そのためには、強靱(きようじ)性、革新性そして相互成長への確約が必要であろう。

【アラン・リー 香港経営コンサルタント協会副会長、リム中産連】

(月曜日に掲載)